

パリ弁護士会再建200周年記念式典に出席 パリ弁護士会と友好協力協定を締結

国際委員会委員長 伊藤 理 (44 期)

6月24日から26日にかけてフランスのパリで開催されたパリ弁護士会再建200周年記念式典に山田正記副会長と筆者が出席し、パリ訪問の機会に当会とパリ弁護士会は友好協力協定を締結した。

フランスにおいて弁護士会制度が公式に認められたのは、1274年のフィリップ三世国王の勅令が最初とされ、パリ弁護士会は700年以上の歴史をもつ。しかし、1790年、当時の革命政権により弁護士会は一旦廃止され、ナポレオン皇帝の勅令により復活されたのが、200年前の1810年であった。この度、パリ弁護士会は世界各国の弁護士会

の代表者を招待し、盛大な記念式典を開催した。元弁護士であるサルコジ大統領による最高裁判所建物内の記念碑の除幕式、パリ市庁舎でのパリ市長主催のレセプション、ユネスコ本部でのシンポジウム、パリ弁護士会主催の記念パーティーなどが催された。

記念式典への出席を機に、パリ弁護士会のジャン・カステラン会長らを訪ね、若旅会長に代わり出席した山田副会長が当会とパリ弁護士会との友好協力協定を締結した。情報交換や会員間の相互交流の促進などを内容とする友好協力協定を活かし、国際交流を活発化させたい。

*表紙裏にカラー写真掲載